

# クロマグロ漁業が強度資源管理タイプへ

～平成26年度補正予算で漁業収入安定対策事業が拡充～

2月3日に成立した平成26年度補正予算において、漁業収入安定対策事業が拡充されクロマグロを目的採捕する漁業が強度資源管理タイプに追加されました。これは太平洋クロマグロ資源の回復へ向けた管理の強化（未成魚の漁獲量削減）の実施に伴い、一本釣り漁業、曳縄漁業、はえ縄漁業、定置網漁業などで漁獲努力量を15%以上削減する、より厳しい管理措置に取り組む資源管理計画を策定し参加する漁業者を支援するもので、計画の実施に伴い懸念される漁業収入の減少に対し、通常タイプに比べ手厚い補償となっています。

強度資源管理タイプは、払戻判定金額が基準漁獲金額と共済限度額の差額の4分の3（定置網漁業では5分の4）となっており、通常の積立ぶらすの払戻判定金額（基準漁獲金額と共済限度額の差額の2分の1）より高水準で設定されていることから、積立可能な額も増え、大きな減収の際にはより多くの補償を受けることができます。

行政庁におかれましては資源管理指針の改正、漁協系統団体におかれましては資源管理計画の変更など、漁業者の計画の策定・実施に対して、迅速な対応をお願い申し上げます。

漁業者の皆様には「ぎよさい」と「積立ぶらす」を活用して、漁業経営の安定に役立てて頂きますよう、なお一層のご利用をお願い致します。

平成26年度の加入実績（1月末累計）（単位：百万円）

区 分	共済金額			漁業者積立額		
	26年度	25年度	前年比	26年度	25年度	前年比
漁獲共済	203,755	191,465	106%	7,895	7,228	109%
養殖共済	149,560	132,748	113%	4,456	2,659	168%
特定養殖共済	78,678	76,459	103%	2,767	2,682	103%
漁業施設共済	14,375	13,311	108%			
地域共済	6,041	6,510	93%			
合 計	452,405	420,494	108%	15,118	12,569	120%